

発行日: 2010年04月27日

製品安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名: スクイズ液低粘度タイプ 硬化剤(冬用)
会社名: ダイヤリフォーム株式会社
住所: 東京都千代田区神田須田町1-26
TEL: 03-3526-6988
FAX: 03-3526-6987

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素

GHS分類

健康に対する有害性

急性毒性経口: 区分 4
急性毒性経皮: 区分 5
急性毒性粉塵/ミスト吸入: 区分 5
皮膚腐食性/刺激性: 区分 1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性: 区分 1
皮膚感作性: 区分 1
生殖細胞変異原性: 区分 1B
生殖毒性: 区分 1B

環境有害性

水生毒性-急性: 区分 3



注意喚起語: 危険

危険有害性情報

飲み込むと有害

皮膚に接触すると有害のおそれ
粉塵/ミストを吸入すると有害のおそれ
重篤な薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷
アレルギー性皮膚反応を引き起こすおそれ
遺伝子疾患のおそれ
生殖能または胎児への悪影響のおそれ
水生生物に有害

注意書き

予防

使用前に取扱い説明書を手にする。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。
取扱い後は汚染箇所をよく洗う。
この製品を使用するときは、飲食または喫煙をしてはならない。
汚染された作業衣を作業場から出してはならない。
(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

必要な個人用保護具を使用する。

対応

直ちに医師に連絡する。

口をすすぐ。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

飲み込んだ場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。

飲み込んだ場合:口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。

皮膚に付着した場合:多量の水と石鹼で洗う。

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

吸入した場合:気分が悪い時は、医師に連絡する。

吸入した場合:被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

眼に入った場合:水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズを着用し容易に外せる場合は外し洗浄を続ける。

暴露または暴露の懸念がある場合:医師の診断/手当を受ける。

皮膚刺激または発疹が生じた場合:医師の診断/手当を受ける。

廃棄

内容物/容器を国/地方の規則に従って廃棄する。

有害性

エポキシ樹脂硬化剤による皮膚障害を起こす恐れがある。

分類の名称(分類基準は日本方式)

腐食性物質

3. 組成、成分情報

単一製品・混合物の区別 :混合物質

成分名	含有量(%)	CAS No.	化管(PRTR)法政令 番号
クレゾール(混合異性体)	1 - 5	1319-77-3	1-086
フェノール	1 - 5	108-95-2	1-349
m-キシリレンジアミン	1 - 8	1477-55-0	-
4-tert-ブチルフェノール	< 1	98-54-4	1-368

注記:これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分

労働安全衛生法「表示すべき有害物」に該当する成分

クレゾール(混合異性体), フェノール

労働安全衛生法「通知すべき有害物」に該当する成分

クレゾール(混合異性体), フェノール, m-キシリレンジアミン

化管(PRTR)法「指定化学物質」に該当する成分

テトラエチレンペンタミン, クレゾール(混合異性体), フェノール

4. 応急措置

一般的な措置

直ちに医師に連絡する。

気分が悪い時は、医師の診断/手当を受ける。

吸入した場合

被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させる。

気分が悪い時は、医師に連絡する。

皮膚に付着した場合

皮膚(または毛)にかかった場合:直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぎ捨て流水/シャワーで洗う。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。汚染した靴は捨てる。再使用する場合は汚物を完全に除去する。

多量の水と石鹼で洗う。
直ちに医師に連絡する。
皮膚刺激または発疹が生じた場合: 医師の診断/手当てを受ける。

目に入った場合

水で数分間注意深く洗う。コンタクトレンズ着用の場合は容易であれば外して洗浄する。
眼の刺激が続く場合: 医師の診断/手当てを受ける。

飲み込んだ場合

口をすすぐ。無理に吐かせてはならない。
気分が悪い時は、医師に連絡する。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。
適切な換気を確保する。

5. 火災時の措置

適切な消火剤

火災の場合は粉末、炭酸ガス、乾燥砂を使用する。

特有の危険有害性

不完全燃焼すると濃い煙が発生する。
消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。
火災の場合: 安全に対処できる場合は漏洩を止める。
消火水の下水への流入を防ぐ。

消火を行う者の保護

防火服/防災服/耐火服を着用する。
低温断熱手袋/顔面保護具/保護眼鏡を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

回収が終わるまで十分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
関係者以外は近づけない。

環境に対する注意事項

漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。
下水、排水中に流してはならない。

回収、中和 ならびに 封じ込めおよび浄化の方法/機材

不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。

二次災害の防止策

漏出物を回収する。
排水溝、下水溝、地下室、あるいは閉鎖場所への流入を防ぐ。

7. 取扱いおよび保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者の暴露防止)

粉じん/ミストを吸入してはならない。
粉じん/ヒューム/ガス/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避ける。
必要な個人用保護具を使用する。

(火災・爆発の防止)

熱源/火花/炎/加熱面から遠ざける。ー禁煙。

注意事項

皮膚に触れないようにする。

眼に入らないようにする。

安全取扱い注意事項

使用前に取扱い説明書を入手する。

保護手袋/保護衣/保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

容器を密閉する。

涼しい所に置く。日光を避ける。

国/地方の規則に従って保管する。

避けるべき保管条件

日光から遮断する。50℃を超える温度に暴露してはならない。

8. 暴露防止及び保護措置

職業暴露限界値、生物学的限界値等の管理指標

管理濃度

(クレゾール(混合異性体))

作業環境評価基準(1995) <= 5 ppm

許容濃度

(フェノール)

日本産衛学会(1978) 5ppm; 19mg/m³ (皮)

(クレゾール(混合異性体))

日本産衛学会(1986) 5ppm; 22mg/m³ (皮)

(クレゾール(混合異性体))

ACGIH(1979) TWA: (5ppm) (皮膚)(眼, 皮膚, & 上気道刺激)

(フェノール)

ACGIH(1992) TWA: 5ppm (皮膚)(上気道刺激; 肺障害; 中枢神経系損傷)

(m-キシリレンジアミン)

ACGIH(1992) STEL: 上限値 0.1mg/m³ (皮膚)(眼, 皮膚および胃腸刺激)

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。

保護具

手の保護具

保護手袋を着用する。

目の保護具

保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

皮膚及び身体の保護具

保護衣を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染箇所をよく洗う。

汚染された作業衣を作業場から出してはならない。

汚染した衣類を再使用する場合は洗濯する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 :液体

色 :淡黄色

臭い :アミン臭

引火点 :130℃

比重/密度 :1.0

水に対する溶解度 :不溶

10. 安定性及び反応性

安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

混触危険物質

酸、強酸、塩基、強塩基、酸化性物質、強酸化性物質、還元性物質、強還元性物質

11. 有害性情報

物理的、化学的および毒性学的特性に関係した症状

急性毒性

経口毒性成分データ

(フェノール)

rat LD50=375 mg/kg (計算値)

(テトラエチレンペンタミン)

3990 mg/kg (JPMA第5版)

(クレゾール(混合異性体))

rat LD50=1,454 mg/kg (IUCALID (2000))

(m-キシリレンジアミン)

rat LD50=693 mg/kg (計算値)

経皮毒性成分データ

(フェノール)

rat LD50=670 mg/kg (EHC 161 (1994))

(テトラエチレンペンタミン)

660 mg/kg (JPMA第5版)

(クレゾール(混合異性体))

rabbit LD50=2,000 mg/kg (EHC 168 (1995))

(m-キシリレンジアミン)

rabbit LD50=2000mg/kg (ACGIH (7th, 2001))

吸入毒性成分データ

(m-キシリレンジアミン)

rat LC50=0.8mg-dust/L/4hr (SIDS (2001))

局所効果

皮膚腐食性/刺激性成分データ

(フェノール)

ラビット 500 mg/24H ; SEVERE 535 mg open ; SEVERE 100 mg ; MILD ラビット 5 mg ; SEVERE 100 mg rinse ; MILD

(テトラエチレンペンタミン)

ラビット 495 mg open ; SEVERE

(m-キシリレンジアミン)

ラビット 500 mg/24H ; SEVERE

(4-tert-ブチルフェノール)

ラビット 500 mg/24H 500 mg/24H ; MILD

眼に対する重篤な損傷・刺激性

眼損傷性/刺激性成分データ

(テトラエチレンペンタミン)

ラビット 5 mg ; MODERATE

(m-キシリレンジアミン)

ラビット 50 μg/24H ; SEVERE

(4-tert-ブチルフェノール)

ラビット 454 mg ; SEVERE 50 μg/24H ; SEVERE

発がん性

(フェノール)

IARC-Gr.3 ; ヒトに対する発がん性については分類できない。

(フェノール)
ACGIH-A4(1992): ヒト発がん性因子として分類できない
(フェノール)
EPA-I: 発がん性を評価する情報が不十分(2005)

12. 環境影響情報

環境有害性

水生毒性

水生生物に有害

水生毒性

(フェノール)

甲殻類(ネコゼミジンコ属) LC50=3.1 mg/L/48hr (EU-RAR, 2002)

(クレゾール(混合異性体))

甲殻類(ヨコエビ科) EC50=7mg/L/48hr (CERINITE, 2006)

(m-キシリレンジアミン)

藻類(セネデスムス) ErC50=14mg/L/72hr (SIDS, 2003)

水溶解度

(フェノール)

溶ける (ICSC, 2001)

(m-キシリレンジアミン)

溶ける (ICSC, 2002)

(4-tert-ブチルフェノール)

溶けない (ICSC, 2000)

残留性・分解性

(フェノール)

BODによる分解度: 85%(既存化学物質安全性点検データ)

(m-キシリレンジアミン)

BODによる分解度: 22%(既存化学物質安全性点検データ)

生体蓄積性

(フェノール)

log Pow=1.46 (ICSC, 2001)

(クレゾール(混合異性体))

log Pow=1.95 (PHYSPROP Database, 2005)

(m-キシリレンジアミン)

log Pow=0.18 (ICSC, 2002) ; BCF < 2.7 (Check & Review, Japan)

(4-tert-ブチルフェノール)

log Pow=2.4 through 3.4 (ICSC, 2000)

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物

(適切な処置を講じたとき以外は)環境への放出を避ける。

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

番号 :3267

クラス :8

指針番号 :153

海洋汚染物質

海洋汚染防止法

有害液体物質(Y類): クレゾール(混合異性体);フェノール;テトラエチレンペンタミン

施行令別表第1有害液体物質(A類)
クレゾール(混合異性体)
施行令別表第1有害液体物質(C類)
フェノール
施行令別表第1有害液体物質(D類)
テトラエチレンペンタミン

15. 適用法令

労働安全衛生法

労働基準法 疾病化学物質:

4-tert-ブチルフェノール

通達 感作性物質(基発第182号):

4-tert-ブチルフェノール

化学物質管理促進(PRTR)法

第1種指定化学物質:

フェノール;テトラエチレンペンタミン;クレゾール(混合異性体)

消防法

第4類 引火性液体第3石油類非水溶性 危険等級 III

船舶安全法

腐食性物質

航空法

腐食性物質

施行規則第194条輸送禁止

大気汚染防止法

施行令第10条特定物質

水質汚濁防止法

施行令第3条生活環境汚染項目、排水基準を定める省令第1条別表第2:排水 =< 5mg-Phenol/L

下水道法

施行令第9条の4水質基準物質:水質基準 =< 5mg-Phenol/L

この物質に関する貴国又は地方の規制については、貴社の責任でご調査願います。

16. その他の情報

参考文献

Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 16th edit. UN

Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (reg.(EC) No 1272/2008)

2008 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK(US DOT)

2009 TLVs and BEIs. (ACGIH)

<http://monographs.iarc.fr/monoeval/grlist.html>

JIS Z 7250 (2005年)「化学物質等安全データシート」

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の実施を前提としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識および経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。